

令和3年度 小金井市立小金井第一小学校 授業改善推進プラン 理科

《各学年の特徴》

- 3年 体験的な学習に関心の高い児童が多く、どの児童も意欲的に学習している。
- 4年 体験的な学習に関心の高い児童が多く、どの児童も積極的に実験や観察に取り組んでいる。
- 5年 課題に対する予想や、実験・観察結果を基にした考察を文章で表現することができるようになってきている。
- 6年 課題に対する予想や考察を、根拠を明確にして、説明することができるようになってきている。

《学力調査から見られる指導の重点》

- ・複数の資料や実験・観察結果から、自分の考えをもつことに課題がある。
- ・条件を整理して論理的に説明することに課題がある。

育てたい力（課題）

- 3年 体験的な学習を通して得た結果から、その後の理科的現象を予想したり、考察したりできる力。
- 4年 生活経験や既習知識を関連付けて、仮説や予想をたてる力。
- 5年 どのような条件時にどのような実験・観察結果が得られたのか、条件を整理して、根拠をもって考察する力。
- 6年 既習事項を活用して、発展問題や新たな課題を解決できる力。条件を整理して、根拠をもって考察する力。

☆授業改善の具体策☆

- ・安全指導の徹底 ・ICT機器の活用 ・生活経験との関連付け
- ・実験条件を整理し、考察する活動 ・基礎・基本となる知識習得の徹底
- ・見通しをもった取り組み ・ホワイトボードの活用
- ・話し合い活動や役割を明確化したグループ活動の充実

《知識及び技能》

- 3年 実験や観察など、体験的な活動を通して知識の定着を図る。
- 4年 実験や観察など、体験的な活動を通して知識の定着を図る。
- 5年 既習事項を活用して基礎・基本となる知識（たしかな学力）の定着を図る。
- 6年 基礎・基本となる知識を活用し、応用的な知識の定着を図る。

《思考力・判断力・表現力等》

- 3年 児童の関心を高め、自ら疑問をもてるような課題を提示する。
- 4年 現象が成り立つ理由に着目させ、考察する機会を増やす。
- 5年 条件を整理し、考察する際に、根拠を明確にし、論理的に説明できるよう、発表、交流の場を充実させる。
- 6年 説得力のある考察を導くために、話し合いや考察など推論する活動を十分に確保する。

《学びに向かう力》

- 3年 生活経験との関連から、理科的事象に関心をもたせる。
- 4年 生活経験や既習知識から、理科的事象に対して、課題を見出し予想する場面を設定する。
- 5年 生活経験と既習知識を生かしながら、粘り強く課題に取り組み、解決できる場面を設定していく。
- 6年 既習知識を応用することで解決できる課題を設定し、多面的に調べたり、予想と違う結果に対して試行錯誤したりする場面を設定する。